



乙島っ子

令和3年度 NO. 50

令和4年 2月10日 倉敷市立乙島小学校

令和3年度 乙島小学校の「通知表」



さる1月28日、2学期から玄関付近に掲げてきた本校の「めざす子ども像」の更新が行われました。「更新」といっても、もちろん内容が変わったわけではなく、これまで校務員の先生たちのお力で模造紙にビニルシートを張り無数の画鋏で固定してもらっていたものをPTAからの予算的なバックアップをいただき、雨風にも耐えられる樹脂シートのものに更新していただいたのでした。



年末には、「学校評価」のアンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。先日、印刷物にて集計結果をお知らせしましたが、特に、本校の「めざす子ども像」に関わる評価結果は、次の通りとなりました。

「にこにこ あいさつ」

児童の自己評価に比べ保護者の方の評価が低いという結果になりました。指導する側の教師の評価も低いです。

※次年度の課題…教師自らが「手本」を示す。「多様な」挨拶の在り方を提示する。

児童	81.6%
保護者	72.5%
教職員	50.0%

「いきいき べんきょう」

児童、保護者の評価はほぼ同一ということから、価値観が共有されているものと見取ることができます。

※次年度の課題…細かい評価では「発表」「交流」に課題があり、授業改善を図る。

児童	74.8%
保護者	74.8%
教職員	75.0%

「のびのび うんどう」

児童、保護者の評価はほぼ同一ということから、良好な方向性が見取れます。「健康教育」の視点からも要検討です。

※次年度の課題…「けんこう」という本質から、「遊ぶ」だけでないものに広げる。

児童	88.1%
保護者	88.2%
教職員	91.6%

「いそいそ さぎょう」

四つのこども像の中で、児童・保護者から最も高い評価が得られたものです。今後は、「いそいその先」が課題です。

※次年度の課題…「いそいそ」の先の「上手に」をめざし、清掃指導の充実を図る。

児童	92.7%
保護者	90.8%
教職員	83.3%

「学校が楽しい」こそが、学校が究極にめざすもの

児童、保護者ともにアンケートの最初の設問は、「学校が楽しいか」を問うものになっています。右は、児童、保護者の「そう思う」の回答結果を経年比較で示したものです。本年度は、保護者の方からの評価が厳しいことが分かります。

「学校が楽しい」は、学校の究極の目標であると考えます。そこで、次年度は、教師の「は・ひ・ふ・へ・ほ」をめざします。

「は」なし上手…「知的好奇心」をかきたてる話に努めます。
「ひ」きだし上手…「児童のよさ」を生かせるようにします。
「ふ」れあい上手…児童、保護者と「通じ合い」を目指します。
「へ」んしん上手…指導者、相談者などの役を使い分けます。
「ほ」め上手…「超具体」など、ほめ方の「科学」を追究します。

